

広報



koho joetsu

3 2026  
月号

No. 1170

上越市  
公式SNSは  
こちらから



特集

分ければ資源、混ぜればごみに  
ごみの分別を見直してみませんか



分ければ資源、混ぜればごみに

ごみの分別を見直してみませんか

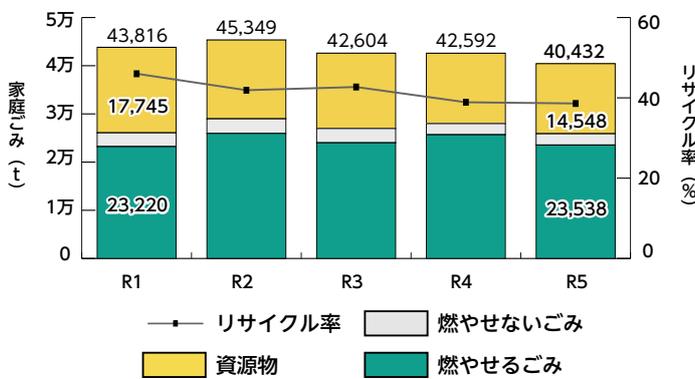


私たちの日々の暮らしの中で、必ず発生する「ごみ」。近年の人件費や燃料費の上昇などにより、ごみの処理に係る費用は増加し続けています。ごみを正しく分別してごみの量を減らすことは、環境を守るだけでなく、処理にかかるコストが抑えられることで、限られた財源を、私たちの暮らしを豊かにするための施策により生かせることにもつながります。

今号では、上越市の家庭ごみの現状や、日頃の分別のポイントを分かりやすく紹介します。

■問合せ…生活環境課 (☎025-526-5111)

市内の家庭から出されるごみの現状



(出典) 上越市一般廃棄物処理基本計画を基に作成

ポイント

- ・家庭から出るごみの総排出量は、令和2年度以降減少傾向
- ・品目別の排出量は燃やせるごみがほぼ横ばいで、資源物が減少傾向
- ・リサイクル率は減少傾向

※資源物=生ごみ、缶・びん(飲食用)、ペットボトル、新聞紙など12品目

※リサイクル率=ごみの総排出量に対する、資源物と燃やせないごみのうちのリサイクル量の割合

ごみの減量、再資源化にご協力を

人口減少などに伴い、市内の家庭ごみの総排出量は減少傾向にあります。内訳を見ると、ペーパーレス化や食生活の変化から、資源物は減少していますが、燃やせるごみの排出量は減少していません。人件費や燃料費が上昇を続ける中、ごみの処理に係る費用を抑えるため、燃やせるごみの量をさらに減らしていく必要があります。

そのためには、例えば買い物にはマイバッグを使いレジ袋をもらわないようにしたり、お出かけにはマイボトルを持ち使い捨て容器の購入を控えたりするなど、ごみそのものの量を減らすほか、資源物を燃やせるごみとして排出してしまう分別誤りをなくすなど、リサイクルの取り組みを実践することが大切です。

ごみの減量と再資源化のため、皆様のご協力をお願いします。



生活環境課  
山崎主任

# 「ごみ減量」「再資源化」のキーワードは「3R」



ごみの減量・リサイクルイメージキャラクター  
リサちゃん

ごみの減量や再資源化を進めるためには、3R（リデュース：減らす、リユース：再利用、リサイクル：再資源化）の行動が大切です。

## リデュース

### Reduce：ごみを「減らす」「出さない」「つぐらない」

#### 実践例

- ・買い物ではマイバッグを使い、レジ袋をもらわない。
- ・お出かけにはマイボトルを持ち、使い捨ての容器の購入を控える。
- ・ばら売りしている野菜や果物は、簡易包装の商品・製品を選ぶ。



## リユース

### Reuse：使えるものは「繰り返し」使う

#### 実践例

- ・着られなくなった服や使わなくなったものを人に譲る。
- ・譲る人がいない場合は、リサイクルショップに出す。
- ・新品でなくてもよいものは、中古品またはリサイクル品を探す。



## リサイクル

### Recycle：買ったものを「再資源化」する

#### 実践例

- ・資源物とごみをしっかり分別して出す。
- ・牛乳パックや食品トレイは、販売店などの店頭回収に出す。
- ・商品のフタやラベルが分別しやすいものなど、リサイクルに適した製品を購入する。



→ PICK UP 詳細は4ページをご覧ください

ご利用ください！

## リサイクルについての出前講座、クリーンセンターの見学を受け付けています

市では、3Rのポイントやごみの分別について職員が説明する出前講座や、クリーンセンターの見学案内を随時受け付けています。お気軽にご相談ください。

### 実施町内会インタビュー



三和区神明町町内会  
金井さん

令和7年8月に町内の希望者約20人で、クリーンセンターの見学と出前講座を実施

#### 分別の大切さを改めて考えるきっかけに

町内では、資源になるものがごみとして出されたり、分別ルールを守らない「違反ごみ」がなくなるなど、分別の徹底が課題になっていました。そこで「もう一度分別を見直そう」と思い、参加者を募って施設見学と出前講座を実施しました。多量のごみや環境に配慮した処理工程を実際に見て、「正しい分別で少しでもごみを減らすことが必要だ」と強く感じました。参加後は、家庭ごみの分け方出し

方ガイドの一部を集積所に掲示するなど、町内の皆さんに意識してもらえるよう取り組んでいます。

#### みんなで話し合い、ルールを共有したい

ごみの出し方のルールを守るには、一人一人が自分事として意識することが大切です。「誰かがやってくれる」ではなく、家族で話し合い、分別のルールを共有してみてはどうでしょうか。

私自身も、家族や近所の皆さんに声をかけ、みんなでルールを守れるよう取り組んでいきたいです。

## ごみの分別についてよくあるお問い合わせ



生活環境課  
山田主事

Q ごみの正しい分別方法は、何を見れば分かりますか？

A 「家庭ごみの分け方出し方ガイド」や上越市ごみ分別辞典（ごみサク）をご活用ください

### 家庭ごみの分け方出し方ガイド

この度、「家庭ごみの分け方出し方ガイド」を改訂し、**モバイルバッテリー**などの**小型充電式電池**の処理方法をはじめ、市民から問い合わせの多い品目をごみ分別区分一覧に追加しました。

広報上越3月号と一緒に配布していますので、ご確認ください。



### 上越市ごみ分別辞典（ごみサク）

インターネット上でキーワード検索ができ、ごみの分別区分や排出方法を確認できます。

また、市公式LINEのメニューからも簡単にアクセスすることができます。



上越市ごみ分別辞典  
（ごみサク）



市公式LINE  
友達登録はこちらから



Q 卵パックやお菓子の箱などは、燃やせるごみとして出していいですか？

A それらは**容器包装（プラスチック製、紙製）**としてそれぞれ分けて出してください

プラスチック製の容器包装はプラスチック製品などに、紙製の容器包装はトイレットペーパーや固形燃料などにリサイクルできるので、「燃やせるごみ」で出さず、**容器包装の収集日**に出しましょう。



Q モバイルバッテリーは、町内のごみ集積所に出していいですか？

A 町内の集積所には出さずに、**回収協力店**に持ち込んでください

回収協力店に持ち込むことができる電池は、**リサイクルマーク**の表示がある**小型充電式電池**です。

※マークの表示がないもの、膨張や破損などの異常が見られるものは、生活環境課または各総合事務所へお問い合わせください。



ニッケル電池



ニッケル水素電池



リチウムイオン電池



回収協力店など詳しくは

## 資源物常時回収ステーションの適正利用のお願い

資源物常時回収ステーションは、仕事などの都合で町内の集積所に資源物を出せない市民のための施設です。資源物の6品目（缶、びん、ペットボトル、新聞紙、雑誌類、段ボール）を回収の対象としています。対象品目以外のごみや、事業所のごみは出せません。



資源物常時回収  
ステーションの場所一覧

### ●ルールを守って利用しましょう

- ・ペットボトルのキャップやラベルをはがすなど、分別方法を確認する。
- ・回収対象品目以外のごみは出さない。  
※不法投棄になります。
- ・屋外に資源物を放置しない。施設の容量を超過して排出しない。  
※一度に全て出さず、複数回に分けて出してください。  
※雨で濡れた段ボールなどの紙はリサイクルが困難になります。



容量を超過した排出（屋外放置）

違反ごみや不法投棄は、**周辺的生活環境を悪化させます**。適正な利用にご協力をお願いします。